



志高く

めざす生徒像

- ・進んで挨拶ができる生徒
- ・自ら進んで学習や部活動に励む生徒
- ・思いやりがあり奉仕のできる生徒
- ・きまりや約束を守る生徒
- ・心身が健康でたくましい生徒

◎志高く 自主的に行動し 成長を続けられる 生徒の育成

☆住所 匝瑳市今泉 5323-3 ☆Eメール nosakatyu-1@bz04.plala.or.jp
☆電話 0479-67-2415 ☆野栄中 HP <http://www.sosa.ed.jp/nosaka/>

研究授業の目的とは

・9/19(火)、9/29(金)の2日間、要請訪問が行われ、本校全教職員が研究授業を行いました。研究授業はどの学校でも毎年行われ、講師の先生方（北総教育事務所の指導主事等）に授業を見てもらい、その後指導を受けるものです。研究授業の目的は

①教職員の授業力向上 ②生徒にとって質の高い教育の実施 ③生徒の学力向上

等があげられます。本校の今年度の研究主題は

『わかる・できるを目指した指導法の工夫～思考し表現するために必要な基礎・基本の定着を目指して～』とし、研修を進めています。今回の研究授業では夏休み前から授業の準備（指導案の作成、教材、教具の準備）をしてきました。どの教職員も目的達成のために努力を重ね、当日はそれぞれの良さを生かした授業が行われました。講師の先生方のご指導をしっかり受け止め、生徒の学力向上やわかる・できる授業を目指し研修を続けていきます。

稲刈り体験が終わりました

・渡辺教諭が技術科の授業で行っている「米づくり」で9月下旬に稲刈りを行いました。2,3年生が慣れない手つきで稲を刈り、刈った稲を束ね、渡辺教諭お手製のはぎ掛け（稲を干す器具）に干す作業を行いました。稲については、農家の方が作ったものと比べると見劣りしますが、それだけ農家の方の米づくりの苦労等を知る良い機会となりました。職員、生徒、地域の方々の協力で無事稲刈りまで終了し、最後に家庭科と連携してお米を炊いて食べる予定です。みんなで苦労して育てたお米はきっと忘れられない味になることでしょう。渡辺教諭の努力で生徒たちも貴重な体験をすることができました。

読書量向上大作戦

・本校の課題の一つに「読書量の少なさ」があります。R4の学校評価で「学校や家で進んで読書している」が生徒60%、保護者76%でした。読書は語彙力、文章力、理解力、思考力、想像力、記憶力、コミュニケーション力の向上につながり、ストレス低下にも良いそうです。本校図書主任の石橋教諭も図書室の環境整備や読書への働きかけなどを熱心に行っています。

・10/4(水)全校集会で、読書の良い点や、校長作成の読書カードの活用について話をしました。生徒か読書に関心を持ち、読書を楽しむ秋になるよう読書量向上を目指していく予定です。

